



## 戦える企業と勝てる企業

クロダイインターナショナルコンサルティング

黒田 毅

高い企業効率性の構築は、IT システム化における企業システムの構築とともに、高い利益性を可能とする。これが戦える企業、勝てる企業で有る。グローバル市場において価格競争力と技術基盤は、世界における自己プレゼンスを与える。先端企業の生産システムに対して、それ以上の生産性を有することにおいても等しい。

これらは時代先端性への到達が企業の必題であり、それらは企業の絶対的健全性を与えるので有る。これらは企業システムの転換とともに、時代参加の必要性が存在するので有る。

新しい現実企業製品と価格において、グローバル基準が存在するので有る。これらグローバル基準の受け入れは、企業が新しい市場環境における参加を行う条件なので有る。

これらは利益の健全性を等しく要求するもので有る。これらは企業倫理性とともに、世界基準における企業構築を可能とできるので有る。

自由経済システムは競争の原則であり、競争が進歩を与えるので有る。企業社会は、馴れ合いでなく、戦いで有ることも真実であり、経済戦争という視点から現実を眺める時、正しい理解を伴うので有る。

しかし、企業が独立と自立において、これらへ到達し行うことは必ず可能なので有る。企業努力という過去はこれら新しい企業像を理想としていることは、理解を伴うはずで有る。

これらは企業のプレゼンスの拡大が新しい可能性への参加を可能とするという新しい現実があるので有る。経済が未来を創造するという新しい現実なので有る。

この企業の挑戦は、結果を有するので有る。未来という新しい現実は、企業の無限の自由や可能性を提案しているので有る。

これらは過去の企業努力が無駄でなく、新しい現実への参加の基盤としてその価値と意味を理解できるはずで有る。